



2018年度 杏林大学 一般入学試験

I

(ア) ② (イ) ③ (ウ) ② (エ) ① (オ) ② (カ) ③ (キ) ② (ク) ② (ケ) ① (コ) ③ (サ) ④ (シ) ③
(ス) ③ (セ) ② (ソ) ②

II

(ア) ① (イ) ④ (ウ) ② (エ) ③ (オ) ④

III

(ア) ③ (イ) ③ (ウ) ③ (エ) ④ (オ) ③ (カ) ② (キ) ④ (ク) ③ (ケ) ② (コ) ④

IV

(ア) ② (イ) ④ (ウ) ① (エ) ④ (オ) ③ (カ) ② (キ) ① (ク) ③ (ケ) ① (コ) ③ (サ) ④ (シ) ①
(ス) ③ (セ) ④ (ソ) ① (タ) ② (チ) ① (ツ) ④ (テ) ① (ト) ③



2018年度 杏林大学 一般入学試験

【 講 評 】

大問構成は例年通り。2つの長文は「医系色」がやや弱まり、「自然科学」と「医師の心得」に関する常識的な内容であった。勝負の分かれ目は、前半の文法問題、会話問題、正誤問題でミスをどれだけ防ぐことができたかどうかになりそうだ。

I. 適語補充問題	難易度：標準
基本的な文構造、構文、イディオムを問う問題がメイン。ただし、(ソ)は文意をきちんととらないと、イディオムの focus on と間違えてしまうので注意が必要。	
II. 会話文問題	難易度：標準
基本的なレベルなので、全問正解が望ましい。	
III. 正誤問題	難易度：標準
例年よりもイディオム関連の問題が多かったため、やや易化した印象を受ける。	
IV. 長文読解問題	難易度：標準
例年通り「本文から推測できるもの」という設問は、一般的な入試問題における内容真偽問題を基準に考えると自信を持って選びにくいかもしれない。一方、それ以外の設問は、不正解の選択肢が本文と常識から大きく外れているものが多いため選びやすい。また、(英文2)「医師の empathy」に関する長文問題は、医学部受験生なら何度も類似の長文を読んだ経験があるはずなので、その知識だけでもかなり選択肢を絞り込むことができただろう。今回のように頻出のテーマに関しては、背景知識の有無が大きく影響する。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・金沢医科大・昭和大・近畿大・藤田保健医・日本医科大
大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276